

## 岩手県食育推進計画に関する施策の進捗状況（令和 5 年度）【総括】

## I 主要指標の進捗状況

施策区分	主要指標	基準年度 (R 1)	目標年度 (R 7)	R 4 実績	R 5 実績
I 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進	【朝食を毎日食べる子どもの割合】 小学校 4 年生	96.6%	100%に近づける	96.6%	95.9%
	中学校 3 年生	89.6%	100%に近づける	88.4%	87.3%
	高校 3 年生	84.9%	100%に近づける	81.3%	82.1%
	【肥満傾向のある割合】 小学校 5 年生	13.5%	11.4%	15.5%	15.7%
	中学校 2 年生	11.9%	9.1%	13.3%	12.6%
	高校 2 年生	12.3%	10.8%	12.4%	11.4%
II 食の安全安心を支える食育の推進	食の安全安心に関する出前講座等の実施回数	152 回	160 回	64 回	129 回
III 食料供給県としての特性を生かした食育の推進	地産地消促進計画を策定している市町村の数	29 市町村	33 市町村	33 市町村	33 市町村
IV 地域に根ざした食育の推進	市町村食育推進計画を策定している市町村の割合	100%	100%	100%	100%

## 岩手県食育推進計画 指標の状況（令和5年度）

## I 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

項目	基準年度 (R1)	目標年度 (R7)	指標設定の 考え方	(参考) R4実績	R5 実績	R5実績の説明	今後の対応	担当課等
1 朝食を毎日食べる子どもの割合								健康国保課
小学校4年生	96.6%	100%に近づける	100%に近づけることを目指します。	96.6%	95.9%	子ども、成人共に毎日朝食を食べる割合が減少している傾向があることから、児童生徒には学校教育における各教科等とおした食に関する指導、また、保護者には事業所への健康経営の取組支援をととして健康と食生活の重要性等についての働きかけを行っているが、基準年度と比較して、全学年とも減少している。	・引き続き、学校、行政、関係機関、食生活改善推進員等による、食育教室、各種健康教室を通じて、子どもと保護者等双方向への啓発に取り組む。 ・事業所への健康経営の取組支援をととして健康と食生活の重要性について続き働きかけを行う。(健康国保課) ・家庭や地域などと連携し、「よりよい運動習慣」「望ましい食習慣」「規則正しい生活習慣」の各習慣を相互に関連付けた一体的な取組(60(ロクマル)プラスプロジェクト)を推進する(保健体育課)。	健康国保課
中学校3年生	89.6%			88.4%	87.3%			健康国保課
高校3年生	84.9%			81.3%	82.1%			健康国保課
2 肥満傾向のある割合								保健体育課
小学校5年生	13.5%	11.4%	令和元年度の東北6県の中で肥満傾向割合が最も低い数値を目指します。	15.5%	15.7%	教職員を対象とした研修会等において、肥満予防に向けた取組を紹介するとともに、各校において取組を行った。 基準年度と比較し、小学校5年生は2.2ポイント及び中学校2年生は0.7ポイント増加、高校2年生は0.9ポイント低下している。	・家庭や地域等と連携し「よりよい運動習慣」「望ましい食習慣」「規則正しい生活習慣」の各習慣を相互に関連付けた一体的な取組(60(ロクマル)プラスプロジェクト)を推進する。 ・「望ましい食習慣」の具体的な取組として、「食習慣啓発資料」や「中高生の肥満予防・改善指導資料」を活用して、生活の基盤である家庭への啓発に取り組む。	保健体育課
中学校2年生	11.9%	9.1%		13.3%	12.6%			保健体育課
高校2年生	12.3%	10.8%		12.4%	11.4%			保健体育課

## 【出典】

1 「いわて健康データウェアハウス」県環境保健研究センター

2 「定期健康診断」県教育委員会、「学校保健統計調査」文部科学省

## Ⅱ 食の安全安心を支える食育の推進

項目	基準年度 (R1)	目標年度 (R7)	指標設定の 考え方	(参考) R4実績	R5実績	R5実績の説明	今後の対応	担当課等
1 食の安全安心に関する出前講座等の実施回数	152回※	160回	過去5年間の平均を上回ることを目指します。	64回	129回	出前講座について、ホームページやチラシ、通知等を通じて、市町村、関係団体等へ積極的に周知に努め、令和4年度実績よりも倍の129件実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大期以前ほど、イベント等の開催が行われず、依頼が減少し、目標を達成できなかった。	オンライン開催にも対応可能とし、広く県民に周知を行い、食品の安全性確保に関する理解の促進等のため、出前講座の実施に取り組む。	県民くらしの安全課

※ H21～26 年度の平均。なお、H23 年度は東日本大震災津波の影響により実施回数が減少したことから除く。

## Ⅲ 食料供給県としての特性を生かした食育の推進

項目	基準年度 (R1)	目標年度 (R7)	指標設定の 考え方	(参考) R4実績	R5実績	R5実績の説明	今後の対応	担当課等
1 地産地消促進計画を策定している市町村の数	29 市町村	33 市町村	全市町村での策定を目指します。	33 市町村	33 市町村	県内全市町村において、策定済み。	県内全市町村において、策定済みであることから、各市町村の計画実行を支援していく。	流通課

## Ⅳ 地域に根ざした食育の推進

項目	基準年度 (R1)	目標年度 (R7)	指標設定の 考え方	(参考) R4実績	R5実績	R5実績の説明	今後の対応	担当課等
1 市町村食育推進計画を策定している市町村の割合	100%	100%	市町村食育推進計画の改定に関する支援を行い、策定率100%を維持します。	100%	100.0%	全ての市町村で策定された。	研修会の開催等により、県内各市町村に対して食育推進計画更新への支援を行う。	県民くらしの安全課

【指標に係る参考データ(調査対象・対象数、調査名等)等】

① 調査対象:全33市町村 出典:農林水産省・県民くらしの安全課調べ／計画の取扱いについて、総合計画等の他の計画中に食育の取組みが記載されている場合も食育計画に該当するとしている。

【参考指標】

2 参考指標の実績に関すること

I 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

項目	基準年度		指標設定の考え方	(参考) R4実績	R5実績	R5実績の説明	今後の対応	担当課等
	現状値	年度						
1 3歳児のむし歯のある者の割合	18.7%	H29		11.5%	－	むし歯のある者の割合は基準年度及び前年度と比較して減少	乳幼児及びその保護者を対象とした歯と口の健康教室、イベント等に取り組む。	健康国保課
2 12歳児の(永久歯)むし歯のある者の割合	39.0%	H30		22.2%	22.2%	むし歯のある者の割合は基準年度及び前年度と比較して減少	児童・生徒及びその保護者を対象とした歯と口の健康教室、イベント等に取り組む。	健康国保課
3 60歳代における咀嚼良好者の割合	72.4%	H28		82.9%	82.9%	60歳代における咀嚼良好者の割合は増加傾向	成人を対象とした歯と口の健康教室、イベント等に取り組む。	健康国保課
4 食に関する指導の全体計画作成校								保健体育課
小学校	100%	R1		99.7%	98.9%	基準年度と比較し、小学校が1.1ポイント、中学校が1.4ポイント、高校が3.3ポイント減少した。	研修会等で食に関する指導の在り方や先進事例の紹介等により、学校における食に関する指導の全体計画作成を支援する。	保健体育課
中学校	100%	R1		98.6%	98.6%			保健体育課
高校	52.6%	R1		49.3%	48.2%			保健体育課
5 肥満防止取組実施状況								保健体育課
小学校	99.7%	R1		99.0%	99.6%	基準年度と比較し、小学校が0.1ポイント減少、中学校が5.6ポイント、高校が19.1ポイント増加した。	引き続き、研修会等で指導資料の周知等により、学校における肥満予防の取組を支援する。	保健体育課
中学校	93.0%	R1		97.3%	98.6%			保健体育課
高校	79.3%	R1		98.4%	98.4%			保健体育課
6 教育振興運動の実践区による食育活動数	186 実践区	R1		181 実践区	187 実践区	県内535実践区中187実践区で食育推進活動を実施した。	教育振興運動推進に係る研修会を通じ、啓発を行う。 ※全県1回(6/6)、各教育事務所管内(地域の実態に応じて行う)	生涯学習文化財課

7 主食・主菜・副菜をほとんど毎日揃えて食べる者の割合(20歳以上)	63.4%	H28		57.5%	-	次回は令和6年度に評価予定	・誰もが自然に健康的な食物選択ができるよう野菜摂取や減塩に配慮した総菜の販売拡大等、食品関連事業した連携した食環境整備に取り組む。 ・「健康的な食事推進マスター」の育成や地域での普及活動により取組の充実を図る。	健康国保課
8 食塩摂取量の平均値(20歳以上)	10.0g	H28		10.1%	-	次回は令和6年度に評価予定	・「いわて減塩・適塩の日」を中心にマスメディア等を活用し、減塩に取り組む機運醸成や広報事業を行う。 ・参考指標1-7と併せて取り組む。	健康国保課
9 毎日最低一食は家族や友人などと一緒に30分以上かけて食事をしている者の割合(20歳以上)	60.2%	H28		57.9%	-	次回は令和6年度に評価予定	・事業所における健康経営の取組等と連動させ、働き盛り世代への食事と心身の健康づくりについて普及啓発する。	健康国保課
10 健康的な食事推進マスターの養成人数	205人	R1		546人	-	令和4年度で事業終了	・県民の健康的な食事の実践に向けた取組を加速化させるため「健康的な食事推進マスター」による健康教育や保健指導を充実させるとともにマスターの資質向上及び活動支援のための研修等を開催する。 ・参考指標1-7～1-9と併せて取り組む	健康国保課

【指標に係る参考データ(調査対象・対象数、調査名等)等】

④ 食に関する指導の全体計画「食に関する指導実施状況等調査」 公立の全学校／⑤肥満予防取組「保健体育行政関係調査」 公立の全学校

## Ⅱ 食の安全安心を支える食育の推進

項目	基準年度		指標設定の考え方	(参考) R4実績	R5実績	R5実績の説明	今後の対応	担当課等
	現状値	年度						
1 食の安全安心に関する講座型リスクコミュニケーションの延べ受講者数	80人	R1		132人	155人	食中毒、食品安全、遺伝子組み換え食品・ゲノム編集食品をテーマに4回実施した。	アンケート結果等から参加者の関心が高いテーマを選定のうえ4回開催する。	県民くらしの安全課

### Ⅲ 食料供給県としての特性を生かした食育の推進

項目	基準年度		指標設定の 考え方	(参考) R4実績	R5実績	R5実績の説明	今後の対応	担当課等
	現状値	年度						
1 農林漁業体験インストラクター等の実施支援								農林水産企画室
実施件数	132件	R1		121件	139件	農林漁業体験インストラクター等の派遣・紹介や、体験学習、関係施設の見学等の受入などの支援を実施。	農林漁業体験インストラクター等の派遣・紹介や、体験学習、関係施設の見学等の受入などの支援を実施(計画件数約120件、計画人数約12,000人)。	農林水産企画室
参加人数	25,304人	R1		9,866人	12,912人			農林水産企画室
2 学校給食における								保健体育課
県産食材の利用割合(金額ベース)	58.2%	R1		60.9%	59.3%	基準年度と比較し、県産食材の利用については1.1ポイント増、国産食材は1.1ポイント減少した。	研修会を通じて、引き続き県産食材及び国産食材を取り入れた食に関する指導の推進に取り組む。	保健体育課
国産食材の利用割合(金額ベース)※ <sub>2</sub>	90.2%	R1		93.0%	89.1%			保健体育課
3 給食施設での県産食材利用率(重量ベース)※ <sub>3</sub>	61%	H30		59.9%	—	隔年で調査を実施しており、次回調査は令和6年度に実施予定。	ホームページで県産食材の情報発信を行うとともに、栄養職員等を対象としたセミナーを開催し、利用促進を図る。	流通課
4 食の匠認定数(累計)	277人・団体	R1		296人・団体	301人・団体	新たに5名を岩手県食の匠に認定した。県内各地で食の匠による郷土料理の伝承会等を開催し、魅力ある岩手の食文化を伝承・発信した(41回)。	引き続き、岩手県食の匠による食文化伝承会の開催やネットワーク活動を支援するとともに、情報発信に取り組む。また、食の匠の技を次世代に継承するために、継続的に後継者育成に取り組む。	農業普及技術課
伝承活動開催回数	30回	R1		32回	41回			農業普及技術課
5 3R推進キャラクターエコロルの普及啓発活動数	32回	R1		20回	28回	・3R推進キャラクターエコロルが、保育園訪問及びエコ協力店の店頭PR活動等に参加し3Rの啓発を行った。	・引き続き、エコロルによる保育園等訪問事業やホームページ・SNS等による啓発を通じて3Rの普及啓発を行う。	資源循環推進課

※<sub>2</sub> 県内の学校をランダムに7施設抽出し、年2回(各5日間)実施する調査。

※<sub>3</sub> 県内の給食施設において、2年に1回(毎月の1週間)給食に利用した食材の全量に占める県産食材の割合を調査するもの。

【指標に係る参考データ(調査対象・対象数、調査名等)等】

② 学校給食施設・7施設「学校給食栄養報告」(文部科学省・食材数ベース)

#### IV 地域に根ざした食育の推進

項目	基準年度		指標設定の考え方	(参考) R4実績	R5実績	R5実績の説明	今後の対応	担当課等
	現状値	年度						
1 食育の取組を行っている市町村の割合	100%	R1		100%	100%	市町村食育担当者研修会をオンライン開催し、情報共有を図った。各市町村では工夫を凝らした様々な取組(保育所や学校給食への地場産品の取入れ、食育教室、栄養教室等)が実施されている。	岩手県食育取組事例集の活用や、地域の食育の課題解決につなげるため、市町村食育業務担当職員研修会を地域開催し、地域に根ざした食育の取組を促す。	県民くらしの安全課
2 食育普及啓発キャラバン実施回数	5回	R1		5回	5回	保育園及び子育て支援センターを訪問しながら普及啓発活動を行った。	引き続き、県内の保育所を訪問する他、今年度は新たに子ども食堂を訪問先に拡大してキャラバンを行い、食育の重要性を普及啓発する。	県民くらしの安全課
3 子ども食堂など子どもの居場所づくりに取り組む市町村数	16市町村	H30		27市町村	26市町村	「子どもの居場所ネットワークいわて」を通じた開設・運営に関する支援や、新規開設や機能強化に要する経費の一部補助等を実施した。	子どもの居場所づくりの取組拡大を図るため「子どもの居場所ネットワークいわて」を通じた開設・運営に関する支援等を行う。	子ども子育て支援室

【指標に係る参考データ(調査対象・対象数、調査名等)等】

① 全33市町村 出典:農林水産省・県民くらしの安全課調べ

岩手県食育推進計画 施策毎の具体的取組

資料 2-3

I 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

施策	取組項目	担当課等	NO	取組内容	R5の取組	R6計画
1 乳幼児等の健全な食習慣の形成	(1) 妊産婦や乳幼児の食事指導への支援	子ども子育て支援室	1	妊産婦のための食事・バランスガイドの普及	・岩手型母子健康手帳中「妊娠中と産後の食事」「妊娠中と産後の食事の目安」についての項目を記載し、妊娠届出時に市町村にて妊産婦に対し岩手型母子健康手帳を交付することで普及啓発に努めた。	・岩手型母子健康手帳中「妊娠中と産後の食事」「妊娠中と産後の食事の目安」についての項目を記載し、妊娠届出時に市町村にて妊産婦に対し岩手型母子健康手帳を交付することで普及啓発に努める。
		子ども子育て支援室	2	授乳・離乳の支援ガイドの普及	・市町村母子保健担当者等の妊産婦や子どもに関わる保健医療従事者に対して、離乳・授乳の支援ガイドの普及啓発に努めた。	・市町村母子保健担当者等の妊産婦や子どもに関わる保健医療従事者に対して、離乳・授乳の支援ガイド(2019年改訂)の普及啓発に努める。
	(2) 子育て相談の実施	子ども子育て支援室	3	基本的な生活習慣や食生活をはじめとする子育てに関する電話相談やメール相談の実施	・各市町村で実施している子育て相談への支援を行った。 ・子育てサポートセンターの委託事業を継続、相談窓口を設置し、子育てに関する相談への助言や各機関への紹介を行った。	・各市町村で実施している子育て相談への支援を行う。 ・子育てサポートセンターの委託事業を継続、相談窓口を設置し、子育てに関する相談への助言や各機関への紹介を行う。
	(3) 口腔の健康づくりの推進	健康国保課	4	口腔の健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児の保護者、保育士等に対し、歯と口の健康、噛むことの大切さを歯と口の健康教育等により啓発した。</li> <li>＜保健所＞</li> <li>・フッ化物洗口支援事業</li> <li>＜岩手県口腔保健支援センター＞</li> <li>・行政歯科担当者研修会(資料提供で対応予定)</li> <li>・乳幼児のフッ化物応用強化啓発</li> <li>・イー歯トープ8020出前健口講座</li> <li>・普及啓発イベント等</li> <li>8020健康フェスタ(6月4日)</li> <li>いい歯の日のつどい in 気仙(11月19日 大船渡)</li> <li>イー歯トープ8020表彰式(12月2日)</li> <li>(岩手県よい歯のコンクール幼児対象部門を再開)</li> <li>「イー歯トープ8020ニュースレター」発行(通年)</li> <li>「イー歯トープ8020健口情報シリーズ」</li> <li>(ホームページ公開)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児の保護者、保育士等に対して、歯と口の健康、噛むことの大切さを歯と口の健康教育、イベント等により啓発する。</li> <li>＜保健所＞</li> <li>・フッ化物洗口支援事業</li> <li>＜岩手県口腔保健支援センター＞</li> <li>・イー歯トープ8020出前健口講座</li> <li>・乳幼児のフッ化物応用強化啓発</li> <li>・行政歯科保健担当者研修会の開催</li> <li>・普及啓発イベント等</li> <li>8020健康フェスタへの参画(6月9日 盛岡)</li> <li>いい歯のつどい関連事業(11月24日 遠野)</li> <li>イー歯トープ8020表彰式の開催(12月予定)</li> <li>「イー歯トープ8020ニュースレター」発行(通年)</li> <li>「イー歯トープ8020健口情報シリーズ」(ホームページ公開)</li> </ul>



1 乳幼児等の健全な食習慣の形成	(4) 特定給食施設等への指導	健康国保課	5	特定給食施設への立入検査・指導を実施	・保健所管理栄養士が保育所等児童福祉施設を対象に「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく栄養管理の実施に必要な指導助言等を行うための調査並びに巡回指導を実施した。【計画：110施設 実績：114施設】	・「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく適切な栄養管理の実施並びに危機管理対策の徹底を図る。
		健康国保課	6	給食担当者の資質向上のための研修会の開催	・「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく栄養管理の実施並びに危機管理対策等、給食施設における課題改善のための研修会を開催した。 ①児童福祉施設担当者向け研修会【計画：10回 実績：14回】 ②小児学童期の肥満予防研修会（児童福祉施設、学校、市町村行政の栄養士を対象にした合同研修会の開催）【実績 9/19開催 参加者：174人】 ・「食事摂取基準2020年版」に基づく児童福祉施設栄養給与目標量算定資料の公開。【ホームページ閲覧数：559】	・「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく適切な栄養管理の実施並びに危機管理対策等、特定給食施設等の課題改善のための研修会の開催。
2 小学生・中学生・高校生の健全な食習慣の形成	(1) 学校における食育の推進	保健体育課	7	食育担当者等を対象とした研修会の開催	・研修会において、食に関する指導の実践事例の紹介等により、学校における食育の推進を支援した。 ・食育推進等研修会（オンライン開催） （オンデマンド配信期間：11/8～12/22、受講者125名）	・研修会において、食に関する指導の実践事例の紹介等により学校における食育の推進を支援する。 ・食育推進等研修会の開催（オンライン開催 11月予定）
		保健体育課	8	学校における食育教材の活用促進	・研修会において、食育教材を活用した指導方法の普及を図った。 ・岩手県栄養教諭学校栄養職員研修会 （6/30開催 受講者117名） ・食育推進等研修会（オンライン開催） （オンデマンド配信期間：11/8～12/22 受講者125名）	・研修会等において、食育教材を活用した指導方法の普及を図る。 ・岩手県栄養教諭学校栄養職員研修会 （6/28 開催予定） ・食育推進等研修会の開催（オンライン開催 11月予定）
		保健体育課	9	食に関する指導の全体計画作成と食育担当者の設置	・研修会において、食に関する指導の在り方や先進事例の紹介等により、学校における食に関する指導の全体計画作成を支援した。 ・食育推進等研修会（オンライン開催） （オンデマンド配信期間：11/8～12/22、受講者125名）	・研修会等において、食に関する指導の在り方や先進事例の紹介等により、学校における食に関する指導の全体計画作成を支援する。 ・食育推進等研修会の開催（オンライン開催 11月予定）
		生涯学習文化財課	10	早寝早起き朝ごはん運動の推進	・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰制度を周知し、普及啓発を行った。	・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰制度を周知し、普及啓発を行う。
		学事振興課	11	食に関わる教育活動への支援	・特色ある教育に対する補助事業を通じて、私立学校における食育の取組を支援した。	・特色ある教育に対する補助事業を通じて、私立学校における食育の取組を支援する。

2 小学生・中学生・高校生の健全な食習慣の形成	(2)肥満予防のための取組支援	保健体育課	12	教諭、養護教諭、栄養教諭等を対象とした研究大会や研修会の開催	<p>1 運動習慣、食習慣及び生活習慣の改善等の一体的な取組の推進に向けた学校等の環境づくり。  (1) 運動習慣、食習慣、生活習慣の計画立案等を支援する「チャレンジカード」を作成・配布した。  (2) 学校等への訪問による支援を実施した。  (3) 優れた取組(学校)の表彰。(令和5年度「60(ロクマル)プラスプロジェクト」推進事業実践交流会において表彰(2/2開催))  2 指導資料の活用  保護者を対象とした食習慣啓発資料や 中高生の肥満予防・改善指導資料を活用し、家庭や地域と連携した取組や保護者への啓発による、適度な運動習慣、望ましい食習慣、基本的な生活習慣の形成・定着に向けた取組を推進した。  3 食育推進等研修会の開催(オンライン開催)  (オンデマンド配信期間:11/8~12/22 受講者125名)</p>	<p>1 家庭や地域などと連携し、「よりよい運動習慣」「望ましい食習慣」「規則正しい生活習慣」の各習慣を相互に関連付けた一体的な取組を推進する。  (1)「チャレンジカード」の作成・配布  (食習慣に関しては「朝ごはんを毎日食べる」「よく噛んで食べる」といった取組項目を設定)  (2) 指導主事の学校等への訪問による支援  (3) 優れた取組(学校)の表彰  2 指導資料の活用  「食習慣啓発資料」や「中高生の肥満予防・改善指導資料」を活用して生活の基盤である家庭への啓発に取り組む。  3 食育推進等研修会の開催(オンライン開催)</p>
		保健体育課	13	体力向上担当者等を対象とした研修会の開催	<p>・従来の「希望郷いわて元気・体力アップ60運動」を継承・発展させた「60プラスプロジェクト」推進事業について研修会や学校訪問等により周知した。  ・地区別体力向上担当者研修会の実施  小学校対象 6地区実施 受講者 270名</p>	<p>・R4からの事業「60(ロクマル)プラスプロジェクト」推進事業の周知を図るほか、R5における「望ましい食習慣」優良事例の紹介により実践推進への支援を図る。  ・地区別体力向上担当者研修会の実施  中学校対象 6地区実施予定</p>
	(3)地域との連携による推進	保健体育課	14	地域と連携して取組んだ事例の周知	<p>・研修会において、地域との連携事例を周知した。  ・食育推進等研修会(オンライン開催)  (オンデマンド配信期間:11/8~12/22 受講者125名)</p>	<p>・研修会等において、地域との連携事例の周知を図る。  ・食育推進等研修会(オンライン開催 11月予定)</p>
	(4)「食育だより」などを通じた家庭への働きかけ	保健体育課	15	食育だより等による家庭への情報提供の推進	<p>・研修会において、食育だより等の情報共有を図った。</p>	<p>・研修会等において、食育だより等情報提供の取組について研修を行う。</p>
	(5)教育振興運動の展開	生涯学習文化財課	16	子ども・家庭・学校・地域・行政の5者連携による教育振興運動の展開	<p>・教育振興運動市町村担当者研修会を開催した(6/7開催、参加者:参集30名、オンライン56名)。  ・市町村が実施する研修会等において、教育振興運動の推進に係る説明や助言を行った(合計6回、参加者515名)。</p>	<p>・教育振興運動推進に係る研修会を通じ、啓発を行う。  ※全県1回(6/6)、各教育事務所管内(地域の実態に応じて行う)</p>

2 小学生・中学生・高校生の健全な食習慣の形成	(6) 口腔の健康づくりの推進	健康国保課	17	口腔の健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒とその保護者、学校職員等に対し、歯と口の健康、噛むことの大切さを歯と口の健康教育等により啓発した。</li> <li>＜保健所＞</li> <li>・口腔の健康づくり推進事業 フッ化物洗口支援事業(3保健所で実施) 思春期歯肉炎予防事業(2保健所で実施)</li> <li>＜岩手県口腔保健支援センター＞(再掲)</li> <li>・行政歯科担当者研修会(資料提供で対応予定)</li> <li>・乳幼児のフッ化物応用強化啓発</li> <li>・イー歯トープ8020出前健口講座</li> <li>・普及啓発イベント等 8020健康フェスタ(6月4日) いい歯の日のつどい in 気仙(11月19日 大船渡) イー歯トープ8020表彰式(12月2日) (歯・口腔に関する標語・ポスターコンクール表彰)</li> <li>「イー歯トープ8020ニュースレター」発行(通年)</li> <li>「イー歯トープ8020健口情報シリーズ」 (ホームページ公開)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、生徒、保護者及び教職員に対して、歯と口の健康、噛むことの大切さを歯と口の健康教育、イベント等により啓発する。</li> <li>＜保健所＞</li> <li>・フッ化物洗口支援事業</li> <li>＜岩手県口腔保健支援センター＞</li> <li>・イー歯トープ8020出前健口講座</li> <li>・学齢期のフッ化物応用強化啓発</li> <li>・行政歯科保健担当者研修会の開催</li> <li>・普及啓発イベント等 8020健康フェスタへの参画(6月9日 盛岡)(再掲) いい歯のつどい関連事業(11月24日 遠野)(再掲) 「イー歯トープ8020ニュースレター」発行(再掲) 「イー歯トープ8020健口情報シリーズ」(再掲)</li> </ul>
	(7) 特定給食施設への指導(再掲)	健康国保課	18	特定給食施設への立入検査・指導を実施	(再掲 I-1-(4)5) ・保健所管理栄養士が小中学校及び学校給食センターを対象に「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく栄養管理の実施に必要な指導助言等を行うため調査並びに巡回指導を実施した。【計画:44施設 実績:44施設】	(再掲 I-1-(4)5) ・「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく適切な栄養管理の実施並びに危機管理対策の徹底を図る。
		健康国保課	19	給食担当者の資質向上のための研修会の開催	(再掲 I-1-(4)6) ・「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく栄養管理の実施並びに危機管理対策等、給食施設における課題改善のための研修会を開催した。 ①小中学校(学校給食センター)担当者向け研修会【計画:6回 実績:7回】 ②小児学童期の肥満予防研修会(児童福祉施設、学校、市町村行政の栄養士を対象にした合同研修会の開催)【実績 9/19開催 参加者:174人】(再掲)	(再掲 I-1-(4)6) ・「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく適切な栄養管理の実施並びに危機管理対策等、特定給食施設等の課題改善のための研修会の開催。

3 生涯にわたる 健全な食習慣の 形成	(1)「新しい生活様式」に応じた健全な食生活の実践への支援	健康国保課	20	「新しい生活様式」に応じた健全な食生活の実践への支援	<p>・新型コロナウイルス感染症の流行以降、家庭で食事を楽しむ機会が増えるとともに日々の食生活の重要性が再認識されたことを踏まえ、誰もが健康的な食事を家庭で実践できるよう食品関連事業者と連携した食環境の整備や普及啓発を実施した。</p> <p>①健康的な食事サポート環境整備事業(岩手県栄養士会への委託) おいしく健康に配慮した総菜の開発支援及び販売促進 【販売実績:(R5.6.20~R6.2.29)総菜4品 買上点数319,490、買上重量27,827,380g、減塩量64,346g】</p> <p>②食品関連事業者に対する栄養成分表示に関する指導【実績:1回】</p> <p>③マスメディア及び食品関連事業者と連携した減塩の機運醸成 9/28を中心に県内民放4局において減塩に関するCMスポット放映</p> <p>④「健康的な食事推進マスター」及び食生活改善推進員による地域普及活動 【実績:食事推進マスターによる支援_386回、5,421人 食生活改善推進員への研修_11回、361人】</p>	<p>誰もが自然で持続可能に、健康的な食事を家庭で実践できるよう食品関連事業者と連携した食環境の整備や普及啓発を強化する。</p> <p>・健康的な食事サポート環境整備事業(継続)</p> <p>・食品関連事業者に対する栄養成分表示に関する指導</p> <p>・マスメディアや食品関連事業者と連携した減塩の機運醸成(継続)</p> <p>・「健康的な食事推進マスター」及び食生活改善推進員による地域普及活動</p>
	(2)食事バランスガイドの普及	健康国保課	21	食事バランスガイドの普及推進	<p>・保健所では「健康的な食事推進マスター」と協働しながら地域住民や事業所従業員、児童・生徒・保護者を対象とした食育講座等において食事バランスガイドを活用した望ましい食習慣形成のための取り組みを推進した。</p> <p>①健康的な食事推進マスター(内臓脂肪をためにくい健康的な食事の組み合わせや食べ方について指導できる栄養士・保健師等)養成者数【R4年度末:546人】</p> <p>②健康的な食事推進マスターの活動【実績 386回 5,421人】</p> <p>③健康的な食事推進マスターを対象とした研修【実績 8回、118人】</p>	<p>・地域における「健康的な食事推進マスター」との協働により取組の充実を図る。</p> <p>・健康的な食事推進マスターの活動支援のための情報交換会や指導スキル向上のための研修の実施</p> <p>・健康的な食事推進マスター及び食生活改善推進員による「健康的な食事」の地域普及予定</p>
		流通課	22	県版食事バランスガイドの利用と普及	<p>・ホームページ等による普及啓発に努めた。</p>	<p>・引き続き、ホームページ等による普及啓発に努めるとともに、学校給食会等を通じて、周知活動を実施</p>

3 生涯にわたる健全な食習慣の形成	(3) 食生活改善ツール等の活用及び普及	健康国保課	23	わかりやすい教材の作成・普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚カロテノイドの測定で野菜摂取量を数値化できる機器(ベジメータ®)を活用した測定会の開催と結果還元で具体的な食生活改善の支援を行った。【実績:10市町 88回 4,196人】</li> <li>・食生活改善ツールとして民間企業の協力を得ながら減塩と野菜摂取に向けた簡単レシピ集を作成し県内のスーパーや地域等で配布</li> <li>・いわて健康情報ポータルサイト内でお薦めレシピサイトを紹介する等、健康的な食事に関する情報発信を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、住民にわかりやすい教材の作成や普及を図る。</li> <li>・いわて健康情報ポータルサイトにより県民向けの情報発信の一元化を図る。</li> <li>・ベジメータ®を活用した測定事業は、公益財団法人いきいき岩手支援財団の助成金を活用し、23市町村食生活改善推進員が各地域で実施予定。いわて健康経営認定事業所においても実施し、働き盛り世代への食生活改善を図る。</li> </ul>
	(4) 健康づくりボランティア等の育成・活動支援のための研修等の実施	健康国保課	24	地域で健康づくり活動を行うボランティアの研修会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所及び健康国保課が市町村ボランティア養成の支援や育成等を行った。</li> <li>①市町村食生活改善推進協議会長等研修会【実績:95人】</li> <li>②岩手県食生活改善研究会【実績:1回 332人】</li> <li>③食生活改善推進員を対象とした健康的な食事普及研修会【11回、361人】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、各保健所を拠点とし、市町村におけるボランティア養成の支援や育成等を行う。</li> </ul>
	(5) 栄養・健康づくり関係者の資質向上のための研修等の実施	健康国保課	25	市町村栄養士や健康運動指導士等を対象とした食生活改善・運動指導者等の研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の栄養改善業務や健康づくり業務を担う者の資質向上のため、行政栄養士研修会及び健康運動指導者研修会等を開催した。</li> <li>1 行政栄養士研修会:岩手県栄養士会への業務委託 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)新人研修:エスポワールいわて及びオンライン 2回 <ul style="list-style-type: none"> <li>①11/10、18人 ②12/9、19人</li> </ul> </li> <li>(2)行政栄養士研修:アイーナ 2回 <ul style="list-style-type: none"> <li>①9/18、73人 ②2/8、53人</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2 健康運動指導者研修会:令和6年1月12日アイーナ【実績:63人】</li> <li>3 「健康的な食事推進マスター」を対象とした研修会【実績 8回、118人】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の栄養改善業務や健康づくり業務を担う者の資質向上のため、引き続き行政栄養士研修会及び健康運動指導者研修会を開催する。</li> </ul>
	(6) 地域の食生活習慣実態の調査の実施	健康国保課	26	幼児、児童生徒、成人等の食生活習慣に関する実態調査の実施と県民への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「県民生活習慣実態調査」の結果公表</li> <li>・「いわて健康データウェアハウス」の内容充実と県民の健康課題等のわかりやすい情報還元を進める。</li> <li>・「見える化」を視点とした健康情報の提供。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「県民生活習慣実態調査」の結果公表</li> <li>・「いわて健康データウェアハウス」の内容充実と県民の健康課題等のわかりやすい情報還元を進める。</li> <li>・「見える化」を視点とした健康情報の提供。</li> </ul>

3 生涯にわたる 健全な食習慣の 形成	(7) 飲食店等の栄養 成分表示等の促進	健康国保課	27	飲食店等における栄養 成分表示等の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所管理栄養士がメニューに栄養成分表示をする飲食店の新規登録に向け指導及び支援を行った。</li> <li>① 飲食店への個別相談指導【実績: 延121回】</li> <li>② 今年度新規登録店【実績: 20店舗】</li> <li>③ 外食栄養成分表示登録店制度についての周知【実績: 81回】</li> </ul>	・店舗数増加及び表示メニューの増加に向けた働きかけを強化する。
	(8) 口腔の健康づくり の推進	健康国保課	28	口腔の健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての年齢層の地域住民に対して、歯と口の健康、噛むことの大切さを歯と口の健康教育等により啓発した。</li> <li>＜保健所＞</li> <li>・地域歯科保健医療従事者研修会(7保健所で実施 高齢者施設における口腔ケアの実践研修 等)</li> <li>・成人の歯周病予防事業 (次ページへ続く)</li> <li>(前ページからの続き)</li> <li>＜岩手県口腔保健支援センター＞(再掲)</li> <li>・行政歯科担当者研修会(資料提供で対応予定)</li> <li>・イー歯トープ8020出前健口講座</li> <li>・普及啓発イベント等</li> <li>8020健康フェスタ(6月4日)</li> <li>いい歯の日のつどい in 気仙(11月19日 大船渡)</li> <li>イー歯トープ8020表彰式(12月2日)</li> <li>(歯・口腔に関する標語・ポスターコンクール表彰)</li> <li>「イー歯トープ8020ニュースレター」発行(通年)</li> <li>「イー歯トープ8020健口情報シリーズ」 (ホームページ公開)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての年齢層の地域住民に対して、歯と口の健康、噛むことの大切さを歯と口の健康教育、イベント等により啓発する。また、歯科保健医療従事者の資質向上のための研修会を開催する。</li> <li>＜保健所＞</li> <li>・フッ化物洗口支援事業(再掲)</li> <li>・思春期歯肉炎予防事業(再掲)</li> <li>・成人の歯周病予防事業</li> <li>・地域歯科保健医療従事者研修会</li> <li>＜岩手県口腔保健支援センター＞</li> <li>・岩手県歯科疾患実態調査</li> <li>・イー歯トープ8020出前健口講座</li> <li>・行政歯科保健担当者研修会の開催</li> <li>・普及啓発イベント等</li> <li>8020健康フェスタへの参画(6月9日 盛岡)(再掲)</li> <li>いい歯のつどい関連事業(11月24日 遠野)(再掲)</li> <li>「イー歯トープ8020ニュースレター」発行(再掲)</li> <li>「イー歯トープ8020健口情報シリーズ」(再掲)</li> </ul>
	(9) 特定給食施設へ の指導(再掲)	健康国保課	29	特定給食施設への立入 検査・指導を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>(再掲 I-1-1-(4)5)</li> <li>・保健所管理栄養士が「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく栄養管理の実施に関する必要な指導助言等を行うための調査並びに巡回指導を実施した。【計画: 312施設 実績: 282施設】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(再掲 I-1-1-(4)5)</li> <li>・「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく適切な栄養管理の実施並びに危機管理対策の徹底を図る。</li> </ul>
		健康国保課	30	給食担当者の資質向上 のための研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>(再掲 I-1-1-(4)6)</li> <li>・「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく栄養管理の実施並びに危機管理対策等、特定給食施設における課題改善のための研修会を保健所単位で開催した。</li> <li>特定給食施設等担当者向け研修会計画: 16回 実績: 20回【</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(再掲 I-1-1-(4)6)</li> <li>・「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく適切な栄養管理の実施並びに危機管理対策等、特定給食施設等の課題改善のための研修会の開催。</li> </ul>

## II 食の安全安心を支える食育の推進

施策	取組項目	担当課等	NO	取組内容 (新計画: R3～R7)	R5の取組	R6計画
1 食の安全安心に関する知識の普及と理解の増進	(1) 食の安全安心に関するリスクコミュニケーションの実施	県民くらしの安全課	31	リスクコミュニケーションの実施	(食の安全安心推進計画のとおり) ①劇場型リスクコミュニケーション ・食の安全安心リスクコミュニケーション「食品添加物と食の安全安心」(1/17、67人) ②講座型リスクコミュニケーション(食の安全安心を考える講座、合計155人) ・リスコミ講師育成講座(9/25、35人) ・食品安全(9/25、42人) ・食中毒(9/25、41人) ・遺伝子組み換え食品・ゲノム編集食品(10/31、37人)	(食の安全安心推進計画のとおり) ・食中毒、食品表示及び食品放射性物質等をテーマに4回開催する。
	(2) 食の安全安心に関する出前講座等の実施	県民くらしの安全課	32	出前講座の開催や講師派遣の実施	(食の安全安心推進計画のとおり) ・129回実施、延4,003名受講。 (テーマ: 食中毒、食品表示、HACCP等)	(食の安全安心推進計画のとおり) ・広く周知を行い、随時依頼に応じて実施する。テーマは、主催側の依頼に応じるほか、県民に特に周知の必要な話題を積極的に取り上げる。
	(3) 食品の安全性等に関する情報の提供	関係課(流通課)	33	広報等を活用した食品の安全性等に関する情報の提供	(食の安全安心推進計画のとおり) ・食品に関するトレーサビリティ制度について、ホームページ等で周知した。	(食の安全安心推進計画のとおり) ・制度について、ホームページ等で引き続き周知活動を実施 ・国と連携し、食品事業者等を対象に、必要に応じて指導を実施
		関係課(県民くらしの安全課)			(食の安全安心推進計画のとおり) ・食の安全安心DVD等による情報発信。 ・食品表示に係る研修会を、保健所において計92回開催し、のべ2,390人が参加。 ・健康への危険度が最大の「クラス1」であって、現に流通している食品の回収があった場合、SNSを活用して速やかな情報提供に努めることとしていたが、該当する1件について、県の公式ツイッターにより速やかな情報発信を行った。	(食の安全安心推進計画のとおり) ・食品表示基準等について県民等の研修会を保健所等で実施予定。 ・県公式ツイッターによる情報発信(食品自主回収) ・食中毒防止についてリーフレットにより周知

1 食の安全安心に関する知識の普及と理解の増進	(4) 災害発生に対応した食の安全安心の確保	防災課	34	災害に備えた食料の備蓄	・岩手県災害備蓄指針に基づく計画的な備蓄の実施。 ・県民や事業所へ備蓄を進めるための広報(ホームページなど)の実施。	・岩手県災害備蓄指針に基づき、計画的な備蓄を実施するとともに県民や事業所へ備蓄を進めるための広報(ホームページ等)を実施する。
		県民くらしの安全課		災害発生時食品衛生マニュアル等の整備	・災害が発生した場合は、食中毒防止や被害拡大等の対策に取り組むとともに、必要に応じて災害発生時食品衛生マニュアルの見直しを実施する。	・災害が発生した場合は、食中毒防止や被害拡大等の対策に取り組むとともに、必要に応じて災害発生時食品衛生マニュアルの見直しを実施する。
		健康国保課		仮設住宅に入居する被災者を対象とした栄養食生活指導のための管理栄養士等派遣避難所等での健康相談や栄養指導の実施	・災害時における要配慮者のための食料支援及び被災者に対する栄養・食生活支援活動を円滑に行うため、公益社団法人岩手県栄養士会との協定締結の準備を進めた。	・災害時における要配慮者のための食料支援及び被災者に対する栄養・食生活支援活動を円滑に行うため、公益社団法人岩手県栄養士会との協定締結を予定
	(5) 学校における食育の推進(再掲)	保健体育課	35	食育担当者等を対象とした研修会の開催	(再掲 I-2-(1) 7) ・研修会において、食に関する指導の実践事例を紹介する等、学校における食育の推進を支援した。 ・食育推進等研修会(オンライン開催) (オンデマンド配信期間:11/8~12/22、受講者125名)	(再掲 I-2-(1) 7) ・研修会において、食に関する指導の実践事例の紹介等により学校における食育の推進を支援する。 ・食育推進等研修会の開催(オンライン開催 11月予定)
		保健体育課	36	学校における食育教材の活用促進	(再掲 I-2-(1) 8) ・研修会において、食育教材を活用した指導方法の普及を図った。 ・岩手県栄養教諭学校栄養職員研修会 (6/30開催 受講者117名) ・食育推進等研修会(オンライン開催) (オンデマンド配信期間:11/8~12/22 受講者125名)	(再掲 I-2-(1) 8) ・研修会等において、食育教材を活用した指導方法の普及を図る。 ・岩手県栄養教諭学校栄養職員研修会 (6/28 開催予定) ・食育推進等研修会の開催(オンライン開催 11月予定)
		保健体育課	37	食に関する指導の全体計画作成と食育担当者の設置	(再掲 I-2-(1) 9) ・研修会において、食に関する指導の在り方や先進事例を紹介する等により、学校における食に関する指導の全体計画作成を支援した。 ・食育推進等研修会(オンライン開催) (オンデマンド配信期間:11/8~12/22、受講者125名)	(再掲 I-2-(1) 9) ・研修会等において、食に関する指導の在り方や先進事例の紹介等により、学校における食に関する指導の全体計画作成を支援する。 ・食育推進等研修会の開催(オンライン開催 11月予定)
		生涯学習文化財課	38	早寝早起き朝ごはん運動の推進	(再掲 I-2-(1)) ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰制度を周知し普及啓発を行った。	(再掲 I-2-(1)) ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰制度を周知し、普及啓発を行う。
		学事振興課	39	食に関わる教育活動への支援	(再掲 I-2-(1)) ・特色ある教育に対する補助事業を通じて、私立学校における食育の取組を支援した。	(再掲 I-2-(1))



2 食品情報の提供と食品表示の適正化の推進	(1) 食品に関するトレーサビリティ制度の普及	流通課	40	食品に関するトレーサビリティ制度の普及推進	・制度について、ホームページ等で周知した。	・制度について、ホームページ等で引き続き周知活動を実施 ・国と連携し、食品事業者等を対象に、必要に応じて指導を実施
	(2) 食品表示に関する店舗への指導	県民くらしの安全課	41	店舗に対する食品表示の指導の実施	(食の安全安心推進計画のとおり) ・県内の事業者店舗について、表示点検を実施。	(食の安全安心推進計画のとおり) ・県内の事業者店舗について、表示点検を実施する。 ・加工食品の原料原産地表示の義務化等、引き続き新たな制度に基づいた表示について適切に指導する。
		県民くらしの安全課	42	食品衛生法に基づく監視・指導と併せた食品表示制度の普及	(食の安全安心推進計画のとおり) ・監視時において適正な食品表示制度の普及に努めた。	(食の安全安心推進計画のとおり) ・監視時において適正な表示制度の普及に努める。
	(3) 食品表示ウォッチャーの委嘱と活動の充実	県民くらしの安全課	43	食品表示ウォッチャーの委嘱と研修会の開催	(食の安全安心推進計画のとおり) ・令和5年5月16日から令和6年3月31日までの委嘱期間で25名に委嘱。 ・報告件数98件。(2回目までの合計。全4回報告。) ・第1回研修会: 令和5年5月16日開催。 ・第2回研修会: 令和5年8月30日開催。	(食の安全安心推進計画のとおり) ・令和6年5月14日から令和7年3月31日までの委嘱期間で24名に委嘱。 ・第1回研修会: 令和6年5月14日に開催。 ・第2回研修会: 年度後半に開催予定。
	(4) 食品の適正表示を推進する者の養成	県民くらしの安全課	44	食品の適正表示を推進する者の養成講習会への講師派遣	・食品表示に係る講習会に講師を派遣し、事業者による食品表示の適正化を支援した(1回)。	(食の安全安心推進計画のとおり) ・食品表示に係る講習会を盛岡市内にて実施予定
	(5) 食品表示に関する相談の実施	県民くらしの安全課	45	食品表示110番の設置と県民から相談等の対応、指導の実施	・食品表示専門員1名を配置した。 ・食品表示110番受理件数5件	(食の安全安心推進計画のとおり) ・食品表示110番の開設 ・引き続き専門員を配置し、適切な対応や指導に努める。
	(6) 自主回収報告制度の確実な実施及び県民への迅速な情報提供	県民くらしの安全課	46	本県事業者の自主回収報告制度による迅速かつ適切な回収と自主回収情報の県民への提供	・自主回収の報告があった36件について、管轄保健所において適切な指導を行ったほか、速やかに国の食品衛生申請等システムに登録し、また、県民くらしの安全課において速やかにホームページに掲載した。 ・現に流通している食品の回収において、健康への危険度が最大の「クラス1」であった場合、SNSを活用して速やかな情報提供に努めることとしていたが、該当する1件について、届出のあった日のうちに県の公式ツイッターで情報発信を行った。	・本格運用が開始した国の食品衛生申請等システムにより県内及び、他の自治体における自主回収情報が閲覧できるようになった。 ・県内で自主回収案件が発生した際には、管轄保健所における適切な指導のほか、国の食品衛生申請等システムへの登録、県ホームページにおけるシステムへの案内掲載、SNSの活用により、県民への速やかな情報提供に努める。

Ⅲ 食料供給県としての特性を生かした食育の推進

施策	取組項目	担当課等	NO	取組内容 (新計画: R3～R7)	R5の取組	R6計画
1 農林漁業体験などを通じた生産への理解の増進	(1) 学校等における農林漁業体験学習の支援	農林水産企画室	47	学校等における農林漁業体験学習の支援	・農林漁業体験インストラクター等の派遣・紹介や、体験学習、関係施設の見学等の受入などの支援を実施。 (実施件数約139件、参加人数約12,912人)	・農林漁業体験インストラクター等の派遣・紹介や、体験学習、関係施設の見学等の受入などの支援を実施。 (計画件数約120件、計画人数約12,000人)
	(2) 酪農体験等の学習支援	流通課	48	酪農体験等の学習の場の提供	・「酪農出前教室」未実施の小学校で、牛乳及び酪農の知識普及の活動を実施した(24の小学校で実施)。	・引き続き、「酪農出前教室」未実施の小学校を中心に、牛乳及び酪農の知識普及の活動を実施予定
	(3) 生産者と消費者の結び付きを深めた地産地消取組の支援	流通課	49	・地域における生産者や加工業者等で構成する組織づくりの支援 ・地産地消促進計画策定推進と地産地消の取組支援	・食のプロフェッショナルアドバイザーの派遣等により、産直施設等(重点産直5施設)の運営強化の取組や生産者、食品事業者との連携を支援した。 ・地産地消に関するセミナーへの参加を呼びかけるなど各市町村の計画の実行を支援した。 ・「いわて地産地消給食実施事業所」(R6.3末現在で81事業所)及び「いわて地産地消弁当」(R6.3末現在で14種類)の認定を実施するとともに、ホームページ等を活用し地産地消情報を発信した。 ・学校栄養教諭等に対する研修(1回)を行った。	・食のプロフェッショナルアドバイザーの派遣により、産直施設等の誘客力・販売力の強化に取り組み、生産者や食品事業者等の連携を支援 ・県内各市町村の地産地消促進計画の実行支援 ・「いわて地産地消給食実施事業所」及び「いわて地産地消弁当」の認定を実施するとともに、ホームページ等を活用し、地産地消情報を発信 ・学校栄養教諭等に対する研修を実施(1回程度)
	(4) 「食べよう！いわての美味しいお米。」運動の推進	流通課(旧県産米戦略室)	50	ごはん食の普及啓発のための情報発信	・HPやSNS等を活用した「ごはん食」の普及啓発に係る情報発信 【いわて純情米HP】 <a href="https://iwate-kome.jp/">https://iwate-kome.jp/</a> 【いわて純情米キャンペーンX】 <a href="https://twitter.com/iwate_kingincp">https://twitter.com/iwate_kingincp</a> ・タウン誌での県産米及び県産米粉活用店舗の特集記事の制作 (「岩手のお米が美味しいお店」acute11月号、12月号、1月号、2月号、岩手食べ歩き大百科2024掲載) ・HPやSNS等を活用した水稻の生育状況や産地の風景などの情報発信 (X(旧Twitter)、Facebook、いわて純情米HP) 【「金色の風」Facebook】 <a href="https://www.facebook.com/iwateKonjikinoKaze">https://www.facebook.com/iwateKonjikinoKaze</a> 【「金色の風」X】 <a href="https://twitter.com/konjiki_no_kaze">https://twitter.com/konjiki_no_kaze</a> 【「銀河のしずく」Facebook】 <a href="https://www.facebook.com/iwateGinganoShizuku">https://www.facebook.com/iwateGinganoShizuku</a> 【「銀河のしずく」X】 <a href="https://twitter.com/ginga_no_sizuku">https://twitter.com/ginga_no_sizuku</a> 【「いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会」Facebook】 <a href="http://www.facebook.com/iwatekomejp">http://www.facebook.com/iwatekomejp</a>	・ホームページやSNS等を活用して「ごはん食」の啓発に係る情報を発信する。 【「金色の風」Facebook】 <a href="https://www.facebook.com/iwateKonjikinoKaze">https://www.facebook.com/iwateKonjikinoKaze</a> 【「金色の風」X】 <a href="https://twitter.com/konjiki_no_kaze">https://twitter.com/konjiki_no_kaze</a> 【「銀河のしずく」Facebook】 <a href="https://www.facebook.com/iwateGinganoShizuku">https://www.facebook.com/iwateGinganoShizuku</a> 【「銀河のしずく」X】 <a href="https://twitter.com/ginga_no_sizuku">https://twitter.com/ginga_no_sizuku</a> 【「いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会」Facebook】 <a href="http://www.facebook.com/iwatekomejp">http://www.facebook.com/iwatekomejp</a> 【いわて純情米HP】 <a href="http://www.iwate-kome.jp/">http://www.iwate-kome.jp/</a>

2 食文化や食生活の継承	(1) 食の匠の活動支援	農業普及技術課	51	食の匠の技の次世代への継承と岩手の食の魅力の情報発信強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県食の匠として5名を新規認定。(認定総数301)</li> <li>・各地域において岩手県食の匠による食文化伝承会の開催を支援し、一般消費者や高校生等を対象とした伝承会を開催した。(3月末現在41回)</li> <li>・HP等を活用して情報を発信した。(3月末現在21回)</li> <li>・岩手ならではの食文化(岩手県食の匠認定料理)を学ぶ機会を提供するため、郷土料理の調理方法等を紹介する動画を撮影(3月末現在12品)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の方も対象に広く伝承活動を実施し、食の匠の後継者を確保・育成</li> <li>・岩手ならではの食文化(岩手県食の匠認定料理)を学ぶ機会を提供するため、郷土料理の調理方法等を紹介する動画を作成し、ホームページ等で情報発信</li> </ul>
	(2) 食生活改善推進員等の活動支援	健康国保課	52	食生活改善ボランティア等による健康的な食習慣や食文化等の普及啓発活動への支援	<p>(再掲 I-3—(3)(4))</p> <p>①保健所及び健康国保課が市町村ボランティア養成の支援や育成等を行った。</p> <p>6/9 市町村食生活改善推進協議会長等研修会【実績:95人】</p> <p>12/14 岩手県食生活改善研究会【実績:1回 332人】</p> <p>②県民向け各種普及啓発の協働を通じた活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚カロテノイドの測定で野菜摂取量を数値化できる機器(ベジメータ®)を活用した測定会の開催と結果還元で具体的な食生活改善の支援を行った。【実績:10市町 88回 4,196人】</li> <li>・食生活改善ツールとして民間企業の協力を得ながら減塩と野菜摂取に向けた簡単レシピ集を作成し県内のスーパーや地域等で配布</li> <li>・いわて健康情報ポータルサイト内でお薦めレシピサイトを紹介する等、健康的な食事に関する情報発信を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、各保健所を拠点とし、市町村におけるボランティア養成の支援や育成等を行う。</li> <li>・サイト内の情報を充実させる。</li> </ul>
	(3) 学校給食への郷土料理の活用	保健体育課	53	栄養教諭等を対象とした研修会において、郷土料理活用推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会において、学校給食に郷土料理を取り入れる教育的効果について取り上げた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会において、学校給食に郷土料理を取り入れた場合の教育的効果及びR5年度「学生が岩手の食育について考える会」における意見等について周知する。</li> </ul>
	(4) 環境に配慮した食生活の推進	資源循環推進課	54	3R推進キャラクターエコロールを活用した普及啓発の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロス削減月間(R5.10)、年末年始及び歓送迎会シーズン(R5.12～R6.1)における「もったいない・いわて☆食べきりキャンペーン」の実施及び「もったいない・いわて☆食べきり協力店」(177店舗登録(R6.3末現在))の取組を通じて、事業者と連携しながら食品ロス削減の推進に取り組んでいる。</li> <li>・上記の他、食品ロスの削減に向け、R3.12に策定した「岩手県食品ロス削減推進計画」に基づき、市町村や関係事業者と連携し、食品ロス削減に係る普及啓発活動を実施している。</li> <li>・食品ロス削減の普及啓発の一環としてR4に「岩手県新ドギーバッグ(持ち帰り容器)アイデアコンテスト」を開催し作成した持ち帰り容器を、食べきり協力店に追加配布し、食べ残しの削減を呼びかけた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家庭でのおいしい食べきりキャンペーン」や「もったいない・いわて☆食べきりキャンペーン」、「もったいない・いわて☆食べきり協力店」の取組を通じて、事業者と連携しながら食品ロスの削減に取り組む。</li> <li>・食品ロス削減をecoマナーの一つとして位置付けて、「いわて三ツ星ecoマナーアクション」を展開する。</li> <li>・食品ロス削減関係団体等との意見交換により食品ロス削減施策について検討する。</li> <li>・ホームページやSNS等を通じた普及啓発を実施。</li> </ul>

2 食文化や食生活の継承	(5) 学校における食育の推進(再掲)	保健体育課	55	食育担当者等を対象とした研修会の開催	(再掲 I-2-(1) 7) ・研修会において、食に関する指導の実践事例の紹介等により、学校における食育の推進を支援した。 ・食育推進等研修会(オンライン開催) (オンデマンド配信期間:11/8~12/22、125名)	(再掲 I-2-(1) 7) ・研修会において、食に関する指導の実践事例の紹介等により学校における食育の推進を支援する。 ・食育推進等研修会の開催(オンライン開催 11月予定)
		保健体育課	56	学校における食育教材の活用促進	(再掲 I-2-(1) 8) 研修会において、食に関する指導の実践事例の紹介等により学校における食育の推進を支援 ・岩手県栄養教諭学校栄養職員研修会 (6/30、受講者117名) ・食育推進等研修会(オンライン開催) (オンデマンド配信期間:11/8~12/22、125名)	(再掲 I-2-(1) 8) ・研修会等において、食育教材を活用した指導方法の普及を図る。 ・岩手県栄養教諭学校栄養職員研修会 (6/28 開催予定) ・食育推進等研修会の開催(オンライン開催 11月予定)
		保健体育課	57	食に関する指導の全体計画作成と食育担当者の設置	(再掲 I-2-(1) 8) 研修会において、食に関する指導の実践事例の紹介等により学校における食育の推進を支援 ・岩手県栄養教諭学校栄養職員研修会 (6/30、受講者117名) ・食育推進等研修会(オンライン開催) (オンデマンド配信期間:11/8~12/22、125名)	(再掲 I-2-(1) 8) ・研修会等において、食育教材を活用した指導方法の普及を図る。 ・岩手県栄養教諭学校栄養職員研修会 (6/28 開催予定) ・食育推進等研修会の開催(オンライン開催 11月予定)
		生涯学習文化財課	58	早寝早起き朝ごはん運動の推進	(再掲 I-2-(1)) ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰制度を周知し普及啓発を行った。	(再掲 I-2-(1)) ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰制度を周知し、普及啓発を行う。
		学事振興課	59	食に関わる教育活動への支援	(再掲 I-2-(1)) ・特色ある教育に対する補助事業を通じて、私立学校における食育の取組を支援した。	(再掲 I-2-(1))

2 食文化や食生活の継承	(6)「食べよう！いわての美味しいお米。」運動の推進(再掲)	流通課(旧県産米戦略室)	60	ごはん食の普及啓発のための情報発信	(再掲 Ⅲ－１－(4))	<p>(再掲 Ⅲ－１－(4) 50)</p> <p>・ホームページやSNS等を活用して「ごはん食」の啓発に係る情報を発信する。</p> <p>【「金色の風」Facebook】  <a href="https://www.facebook.com/iwateKonjikinoKaze">https://www.facebook.com/iwateKonjikinoKaze</a></p> <p>【「金色の風」X】  <a href="https://twitter.com/konjiki_no_kaze">https://twitter.com/konjiki_no_kaze</a></p> <p>【「銀河のしずく」Facebook】  <a href="https://www.facebook.com/iwateGinganoShizuku">https://www.facebook.com/iwateGinganoShizuku</a></p> <p>【「銀河のしずく」X】  <a href="https://twitter.com/ginga_no_sizuku">https://twitter.com/ginga_no_sizuku</a></p> <p>【「いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会」Facebook】  <a href="https://www.facebook.com/iwatekomejp">https://www.facebook.com/iwatekomejp</a></p> <p>【いわて純情米HP】  <a href="http://www.iwate-kome.jp/">http://www.iwate-kome.jp/</a></p>
--------------	--------------------------------	--------------	----	-------------------	--------------	---

## IV 地域に根ざした食育の推進

施策	取組項目	担当課等	NO	取組内容 (新計画:R3～R7)	R5の取組	R6計画
1 食育推進運動 の展開	(1)食育月間等にお ける食育の普及	県民くらしの 安全課	61	食育月間、食育の日 における食育の普及啓発	・保育園等を訪問しながら、食育の普及啓発を行った。 ・マスコミを活用した情報発信、食育関係機関への食育月間及び食育の 日の取組についての周知等を行い、食育の普及を図った。	・6月以降に県内の保育所等に食育普及啓発キャラバンを実施する。 ・マスコミを活用した情報発信、食育関係機関への食育月間及び食育 の日の取組についての周知などを行い、食育の普及を図る。
		県民くらしの 安全課	62	食育推進県民大会の開 催	・10月21日に令和5年度岩手県食育推進県民大会を実施した。 会場:イオンモール盛岡 イーハートブ広場、共用通路 内容 (1)各種表彰式 ・食育貢献者 ・図画・食育推進図画ポスターコンクール ・食育標語コンクール (2)ステージイベント(食育ダンス、エコロルステージ他) (3)体験コーナー、標語・図画ポスター展示 (4)岩手うんめえ～もん!! グランプリ2023販売会	・10月27日(日)に開催予定 会場:イオンモール盛岡 内容:県の各種表彰式、体験コーナー、クイズラリー物販等
		健康国保課	63	「いわて減塩・適塩の日」 キャンペーンや健康づく り教室等を通じた食育の 普及啓発	・食品関連事業者や健康づくり関係団体とのコラボやマスメディアを活用しな がら「いわて減塩・適塩の日」を中心バランスのとれた食事と減塩に関する啓 発を強化した。【実績:115回】 ・「健康的な食事推進マスター」との協働により、地域における食育の取組を 進めた。 ・健康づくり関連事業や食品関連事業者とコラボし、テレビCMスポット放映に よる県民への情報提供を行った。	・引き続き、食品関連事業者や健康づくり関係団体とのコラボやマスメ ディアを活用しながら「いわて減塩・適塩の日」を中心とした啓発を強 化するとともに、管理栄養士、栄養士、保健師及び養護教諭等を対象 とした「健康的な食事推進マスター」との協働により、地域における食 育の取組の充実を図る。

1 食育推進運動の展開	(1)食育月間等における食育の普及	若者女性協働推進室	64	「いわて家庭の日」における食育の普及啓発	<p>・「いわて家庭の日」は、青少年の健やかな成長のために家庭の果たす役割を認識し、家庭の大切さを呼びかけ、家族・親子のふれあいを深めるきっかけとする日として、(公社)岩手県青少年育成県民会議(以下、「県民会議」)が提唱する県民運動である。この中で、「家族そろって食事をする」とや「早寝早起き朝ごはん」などと呼びかけた。</p> <p>・県民会議が毎月発行する「いわて家庭の日」のチラシを県民室に配架するとともに、県民会議のホームページや「まなびネットいわて」に公開した。また、各市町村の青少年行政担当部局にチラシを送付し、各種イベント等での配付や掲示などと呼びかけた。</p>	<p>・「いわて家庭の日」県民運動において、「家族そろって食事をする」とや「早寝早起き朝ごはん」を呼びかける。</p> <p>・県民会議が毎月発行する「いわて家庭の日」のチラシを県民室に配架するとともに、県民会議のホームページや「まなびネットいわて」に公開する。また、各市町村の青少年行政担当部局のほか、県立青少年の家・野外活動センターにチラシを送付し、各種イベント・事業等での配布や掲示などと呼びかける。</p>
		流通課	65	県産食材を活用した食育の普及啓発	<p>・県内小中学校を対象とし、「いわて牛・いわて短角牛学校給食の日(11月29日)」に「いわて牛」・「いわて短角牛」を使用した学校給食を提供した。</p> <p>・「酪農出前教室」を実施した。(No.48再掲)</p>	<p>・県内小中学校等を対象とした「いわて牛・いわて短角牛学校給食の日(11月29日)」の実施支援</p> <p>・「酪農出前教室」の実施(再掲 Ⅲ-1-(2) 48)</p>
		流通課(旧県産米戦略室)	66	食育の普及・推進のキャンペーンの実施	<p>・県内飲食店と連携した県産米の増量・大盛キャンペーンの実施(ほっかほっか亭 県内39店舗、県外33店舗 11/1～11/30)</p> <p>・「いわて純情米で至福の味わい!!キャンペーン」の実施(全国の米穀専門店を対象に県産米を購入すると抽選で豪華景品をプレゼントするもの 2/1～2/29)</p>	<p>・県内飲食店等と連携した県産米の増量・大盛キャンペーンを実施する。</p> <p>・県産米の消費拡大に向けたキャンペーンを実施する。</p>

1 食育推進運動の展開	(1)食育月間等における食育の普及	流通課(旧県産米戦略室)	67	イベント・フェア等での県産米PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント・フェア等での県産米PRによる食育の普及・推進</li> <li>【いわて純情米消費拡大月間】 (盛岡駅、花巻空港、イオンでの おにぎり配布 4/29)</li> <li>【「銀河のしずく」田植え行事】 (紫波町大巻 知事、生産者参加 5/18)</li> <li>【「銀河のしずく」稲刈り行事】 (紫波町大巻 知事、生産者参加 9/19)</li> <li>【首都圏トップセールスイベント(新CM発表会)】 (主催:全農いわて県本部 東京都神田明神 知事出席 9/27)</li> <li>【県内トップセールスイベント】 (主催:いわてのお米ブランド力生産販売戦略推進協議会 イオンモール盛岡 知事出席 10/22)</li> <li>・「ごはん食」の啓発を目的としたコンクール開催支援</li> <li>【「ごはん・お米とわたし」作文・図画岩手県コンクール】 (応募数:作文173点、図画60点 計233点 県内34校参加)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント・フェア等での県産米PRにより食育の普及・推進を図る。 「金色の風」田植え行事(奥州市) 「金色の風」稲刈り行事 トップセールスイベント</li> <li>・「ごはん食」の啓発を目的としたコンクール等の開催を支援する。</li> </ul>
	(2)食育を推進する基盤整備の支援	県民くらしの安全課	68	岩手県食育推進ネットワーク会議と関係機関との連携の仕組みの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いわて食育応援団」認証制度の活用と企業等との連携を実施。 令和5年度岩手県食育推進県民大会で体験コーナーの出展に協力していただいた。</li> <li>・構成団体と食について学ぶ大学生の意見交換会「学生が岩手の食育について考える会」を開催(11月)</li> </ul>	・「いわて食育応援団」認証制度の活用と企業等との連携を実施。
	(3)食育推進貢献者等の表彰の実施	県民くらしの安全課	69	食育推進活動に取り組んでいる個人又は団体の表彰の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育貢献者表彰の実施。 募集期間:6/1～8/17</li> <li>・10月21日の岩手県食育推進県民大会で表彰式を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育貢献者表彰の実施。 募集期間:6月中旬日から8月中旬を予定 10月27日の岩手県食育推進県民大会で表彰予定</li> </ul>
	(4)食育に関する広報活動の推進	県民くらしの安全課	70	食育推進ネットワーク会議構成団体と連携した食育に関するコンクールの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育推進図画・ポスターコンクール及び食育標語コンクールの実施。 テーマ「私の好きな岩手の食べ物」 募集期間:6月～8月</li> <li>・10月21日の岩手県食育推進県民大会で表彰式を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育標語コンクール及び食育推進図画・ポスターコンクールの実施。 テーマ「お弁当」 募集期間:6月中旬から8月中旬を予定 10月27日の岩手県食育推進県民大会で表彰</li> </ul>
	(5)第16回食育推進全国大会inいわての開催	県民くらしの安全課	71	「第16回食育推進全国大会inいわて」のウェブ開催	-	・「第16回食育推進全国大会inいわて」開催を契機に作成した食育ダンス等を活用し食育への取組をより一層促進する。
	(6)企業における食育活動の推進	県民くらしの安全課	72	いわて食育応援団の加入促進等による食育活動の普及啓発	・令和5年度岩手県食育推進県民大会で体験コーナーへ出展してもらい食育の普及啓発を図った。	・引き続きいわて食育応援団の加入を促し、食育計画等の普及啓発を行い、企業での食育活動の取組に繋げる。また、令和6年度も食育推進県民大会において出展し、啓発を行う機会を設ける。



2 市町村や地域における食育の推進	(1) 市町村等における食育推進の支援	県民くらしの安全課	73	市町村食育業務担当職員研修会の開催等による市町村食育推進計画策定支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村食育業務担当職員研修会の開催等により、市町村の計画改定等を支援する。(2月2日開催)</li> </ul> <b>【内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動紹介 「地域の食育活動について」 講師: 安藤 直美氏(岩手県食の匠・「つぶっこまんま」主宰)</li> <li>・グループワーク テーマ: 食文化の継承について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村食育業務担当職員研修会の開催等により、市町村の計画改定や地域の課題解決等を支援する。 令和7年1月(予定)</li> </ul>
		子ども子育て支援室	74	子ども食堂等への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの居場所ネットワークいわてを通じ、子ども食堂等の子どもの居場所づくりに取り組む団体等を支援した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの居場所づくりの取組拡大を図るため「子どもの居場所ネットワークいわて」を通じた開設・運営に関する支援等を行う</li> </ul>

## ◆岩手県食育推進計画 県以外の主体の取組状況（令和5年度）

## Ⅰ 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

## ●施策

- 1 幼児等の健全な食習慣の形成
- 2 小学生・中学生・高校生の健全な食習慣の形成
- 3 生涯にわたる健全な食習慣の形成

皆さんに期待すること					
家庭	幼稚園・保育所	学校	地域	食品関連事業者	市町村
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、朝食を食べる(準備する)習慣を身に付ける。</li> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん」を実践する。</li> <li>・家族全員又は誰かと一緒に食卓を囲み、楽しい会話をしながら食事をする機会を作る。</li> <li>・一日に2回は、主食・主菜・副菜が揃った食事を食べる(準備する)よう心がける。</li> <li>・自分の歯で何でも噛めるように口腔の健康を保ち、よく噛んで食べる習慣を身に付ける。</li> <li>・学校が開催する給食交流会などの食に関する行事へ参加する。</li> <li>・学校が実施する食生活に関する取組を参考に、健全な食生活を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの食への興味や意欲を喚起するとともに、望ましい食習慣を育成するための取組を実施する。</li> <li>・家庭の食生活に関する相談への助言を実施する。</li> <li>・家庭や地域に給食を試食する機会を提供する。</li> <li>・子どもの口腔の健康づくりを行い、よく噛んで食べる習慣の形成に取り組む。</li> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣形成に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育活動全体を通じた児童生徒への食に関する指導を実施する。</li> <li>・家庭に対する啓発活動を実施するとともに、食育に関する様々な情報を提供する。</li> <li>・子どもの口腔の健康づくりを行い、よく噛んで食べる習慣の形成に取り組む。</li> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん」の指導を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医療関係者等による口腔の健康づくりの実施により、自分の歯で何でも噛めるように口腔の健康を保ち、よく噛んで食べる習慣の形成・維持に取り組む。</li> <li>・近隣住民等に健康的な食生活に関する情報を提供する。</li> <li>・学校が開催する給食交流会などの食に関する行事へ参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食店での栄養成分表示を積極的に進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健診や各種事業を通じた子どもの健康と食に関する相談体制を充実させる。</li> <li>・子育て世代(20～40歳代)が参加しやすい方法による健康や食に関する各種教室を積極的に開催する。</li> <li>・食生活改善推進員を養成する。</li> <li>・歯科医療関係者等と連携して住民の口腔の健康づくりを実施し、自分の歯で何でも噛めるように口腔の健康を保ち、よく噛んで食べる習慣の形成・維持に取り組む。</li> <li>・家庭や学校、地域が連携して行う食育に関する行事や活動を支援する。</li> </ul>

県以外の主体の取組状況	
取組状況	補足(委員)
<p>【事業者団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子食育教室や男性のための料理教室の開催。</li> <li>・食生活改善推進員団体が地域において適量・適塩等の健全な食生活の定着に向けて啓発を実施。</li> <li>・栄養士会において乳幼児の栄養、食生活に関する相談を実施。</li> </ul> <p>【教育振興運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども、家庭、学校、地域、行政の役割と責任を明確にし、互いに連携しながら地域の教育課題解決のための取組を実施。</li> </ul> <p>食育推進の取組事例</p> <p>「残食調べ(SDG's)」(一関市)</p> <p>「親子味噌・豆腐づくり」(一関市)</p> <p>「野菜栽培」(一関市) 等</p> <p>【市町村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園で野菜の栽培や調理体験を通じた食育の取組を実施。</li> <li>・朝食の大切さを伝える普及啓発展示の実施。</li> <li>・食育講座(栄養士の講話、ヘルシー栄養教室等)を実施。</li> <li>・かみかみ週間の実施、「食育の日・よくかむ給食」の実施。</li> <li>・図書館と連携し、「食」に関する本の企画展を実施。</li> </ul>	<p>「いわて生活協同組合」として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ下で実施できなかった料理教室を徐々に解禁し、親子での簡単な料理教室やママ向けにお弁当作り教室などを開催。</li> <li>・子育て中のママたちや幼児サークルなどに、冷凍離乳食などの便利な食品を紹介。</li> <li>・子育て中のママたちを対象に歯科衛生士を招いて歯磨き指導などの「子どもの歯相談会」を開催。</li> </ul> <p>「JA全農いわて」として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生スポーツ大会協賛</li> </ul> <p>大会協賛を通じて参加小学生及び保護者・指導者に対し、体作りに必要なバランスのとれた「食事の大切さ」と「食を支える国内農業の重要性の理解促進」を図った。小学生の野球、ソフトボール、卓球、バレーボール、ミニバスケットボール、柔道の各種大会において、チラシ、ノベルティの配布、参加賞・副賞提供(県産農畜産物)を実施した。</p> <p>「岩手県学校栄養士協議会」として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食を活用した食に関する指導(教科等、給食の時間、個別的な相談指導)を実施</li> <li>・肥満予防対策の1つとして「カミカミ給食」を実施</li> </ul>

## Ⅱ 食の安全安心を支える食育の推進

### ●施策

#### 1 食の安全安心に関する知識の普及と理解の増進

#### 2 食品情報の提供と食品表示の適正化の推進

皆さんに期待すること					
家庭	幼稚園・保育所	学校	地域	食品関連事業者	市町村
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクコミュニケーションへの参加に努める。</li> <li>・食品表示や食中毒、食物アレルギーなどの食の安全について知識と理解を深める。</li> <li>・食品表示を有効活用する。</li> <li>・牛肉・米トレーサビリティ制度により伝達された産地情報を、商品選択の参考とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の時間や家庭科など関連する教科等の時間において、食品表示や食中毒、食物アレルギーなどの食の安全について学ぶ。</li> <li>・食品の生産・製造・加工、流通・販売について学ぶ。</li> <li>・リスクコミュニケーションへの参加に努める。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクコミュニケーションへの参加に努める。</li> <li>・食の安全安心の確保に関する情報を分かりやすく、適切に提供する。</li> <li>・食品の生産・製造・加工、流通・販売の仕組みなどの食の安全安心に関する学習を支援する。</li> <li>・食品に関する情報提供を推進する。</li> <li>・食品表示を適正に行う。</li> <li>・関係法令の順守及びトレーサビリティに必要な取組(牛肉・米穀等の取組情報の記録・保存及び産地情報の伝達の実施)を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者に対し、食品表示や食品衛生等に関する普及啓発を行う。</li> </ul>
県以外の主体の取組状況					
取組状況			補足(委員)		
<b>【事業者団体等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子食育教室や男性のための料理教室の開催。</li> <li>・食生活改善推進員団体が地域において適量・適塩等の健全な食生活の定着に向けて啓発を実施。</li> <li>・栄養士会において乳幼児の栄養、食生活に関する相談を実施。</li> </ul>			「いわて生活協同組合」として <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て中のママたち向けに食品表示や添加物についての学習会を開催。</li> <li>・食の安全・安心に関する学習会へ参加</li> </ul> 「JA全農いわて」として <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内農業高校生(畜産選考)に対して、牛肉の流通と品質の見方及び実際に農業高校の農場に伺い、牛の飼養管理の研修会を実施。また、学習した生徒たちが全農本所(東京都大手町)主催の『和牛甲子園』へ出場し、肉牛生産に関する学びを深めた。</li> </ul>		

### Ⅲ 食料供給県としての特性を生かした食育の推進

#### ●施策

#### 1 農林漁業体験などを通じた生産への理解の増進

#### 2 食文化や食生活の継承

皆さんに期待すること					
家庭	幼稚園・保育所	学校	地域	食品関連事業者	市町村
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産現場の体験や生産者との交流により、農林水産業に対する理解を深める。</li> <li>・四季折々の家庭行事などで郷土料理や行事食をつくり、楽しく食卓を囲む。</li> <li>・県産食材や地元で取れる季節の食材を使った家庭料理を心がける。</li> <li>・祖父母や親から“我が家に伝わる料理”を積極的に学び、次世代に伝える。</li> <li>・食べ残しをしない。</li> <li>・食材は使い切り、料理くず等を出さないよう調理方法を工夫する。</li> <li>・マイボトルやマイ箸を活用するなど、使い捨てプラスチックの使用をできるだけ控える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産現場の体験や生産者との交流により、農林水産業に対する理解を深める。</li> <li>・行事や実習等の体験を通じて、幼児期から地域の食文化に触れる機会を提供する。</li> <li>・地元食材や県産食材、郷土料理や伝統料理を給食に取り入れる。</li> <li>・給食、お弁当を残さず食べる「もったいない」の習慣を培う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産現場の体験や生産者との交流により、農林水産業に対する理解を深める。</li> <li>・農林漁業の体験活動を通じて、地域の食材に対する理解を深める。</li> <li>・地元食材や県産食材、郷土料理や伝統料理を学校給食に取り入れ、食に関する指導の生きた教材として学校給食を活用する。</li> <li>・家庭に対する啓発活動、情報提供を行う。</li> <li>・給食、お弁当を残さず食べる「もったいない」の習慣を培う。</li> <li>・食品ロス削減に関する理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産業の多様な体験の機会を提供する。</li> <li>・地域行事や共食事業等の機会を活用し、地元食材や県産食材を取り入れるとともに、郷土料理を食して伝える機会を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産業の多様な体験の機会を提供する。</li> <li>・食品廃棄物について、発生抑制と減量化により最終的に処分される量を減少させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林漁業体験学習関係者の連携を推進する。</li> <li>・食文化や郷土料理の継承関係者間の連携や、食の匠等による伝承活動のための環境づくりを推進する。</li> <li>・食文化や郷土料理を継承できる人材を育成する。</li> </ul>

県以外の主体の取組状況	
取組状況	補足(委員)
<p>【小中学生等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林漁業体験学習の実施。</li> </ul> <p>【市町村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産農産物や郷土料理を取り入れた学校給食の提供。</li> <li>・食育月間にあわせて、地場産農畜産物を取り入れた学校給食、保育所における地産地消給食・県産食材給食の提供を実施。</li> <li>・食育月間にあわせて、学校で郷土食の紹介や調理実習、食育教室を実施。</li> </ul> <p>【生活研究グループ連絡協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紫波郡生活研究グループ連絡協議会が、紫波総合高校ライフデザイン系列2、3年次生徒にひつつみ、バラ寿司、がんづき、かまやきの実習を指導。</li> <li>・盛岡地方生活研究グループ連絡協議会が、盛岡農業高校生にがんづき、黒平豆みそ、かまやき、くるみ味噌漬けたんぽ、万能みそだれの実習を指導。</li> </ul>	<p>「いわて生活協同組合」として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子では「リンゴ狩り」「ミニトマト収穫体験」を開催。</li> <li>・産直米交流会として、親子で田植え、稲刈り体験を開催</li> <li>・コロナは5類に移行したものの産地見学学習は慎重に検討、R5年度は開催せず。その分、生産者を招いての学習会を複数回開催。</li> </ul> <p>「岩手県学校栄養士協議会」として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学校給食週間(1月24日～30日)において、地元食材や郷土料理などを給食に取り入れたり、家庭へ情報提供を行った。</li> </ul>

#### Ⅳ 地域に根ざした食育の推進

##### ●施策

##### 1 食育推進運動の展開

##### 2 市町村や地域における食育の推進

皆さんに期待すること					
家庭	幼稚園・保育所	学校	地域	食品関連事業者	市町村
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭等で食卓を囲む機会を充実させる。</li> <li>・親子や世代間におけるコミュニケーションを確保する。</li> <li>・買い物、料理、配膳の手伝い、食前・食後の挨拶等により、食に関する基礎を学ぶ。</li> <li>・学校や保育所、地域が行う食に関する勉強会や体験的な活動に子どもと一緒に積極的に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育だより、給食展示、給食の試食会等を通じて学校給食や食に関する指導内容等を家庭と共有する。</li> <li>・保護者会等を通じて食に関する指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、講習会、親子料理教室などの実施に努める。</li> <li>・幅広い世代における食育関連のリーダー育成に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育に関する理解を深め、各事業者の事業活動などの特色に応じた食育活動を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育を推進するための適切な組織を形成するとともに、市町村食育推進計画を策定する。</li> <li>・市町村食育推進計画に基づき、学校や保育所、地域などと連携し、計画的に食育の施策を展開する。</li> <li>・ホームページ、広報等を通じた食育に関する情報提供を行う。</li> </ul>	
県以外の主体の取組状況					
取組状況			補足(委員)		
<b>【事業者団体等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県食育推進ネットワーク会議において、県民の食育への理解と関心を深めることを目的に、食育標語コンクール及び食育推進ポスターコンクールを実施。(県と共催)</li> </ul>			「いわて生活協同組合」として <ul style="list-style-type: none"> <li>・4～6歳児を対象とした店舗での「お買い物体験」を複数回開催。サンドイッチの材料を買って来て、その後実際に作って食べる取り組み。</li> </ul>		

<p>【市町村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で給食だより等による食育指導、調理実習等を実施。</li> <li>・ホームページや各広報誌等で食育を普及啓発。</li> </ul>	<p>「JA全農いわて」として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いわて牛・いわて短角牛給食の日 11月29日「いい肉の日」の日に「いわて牛・いわて短角牛学校給食の日」と称し、県内の小・中学校へ県産牛肉の提供を実施。いわて牛・いわて短角牛が使用された学校給食を食べてもらい、食の豊かさの継承と岩手県産牛肉についての理解醸成を図った。(県下21市町村、302校(63,808名)、計1,469kg)</li> <li>・和牛甲子園出品牛販売会の実施 東京都中央卸売市場食肉市場にて1月19日に開催された第7回和牛甲子園に盛岡農業高等学校から出品された牛を(株)いわちくが1頭購買して、その後岩手に持ち帰り、2月10日(土)はいわて生協で2月16日(金)はパルクアベニューカワトクにて『和牛甲子園販売会』を(株)いわちくと協賛開催し、和牛甲子園に携わった生徒や食品関係を専攻している生徒も店頭に立ち、お客様への紹介やチラシ配布等して、授業では学べない食育活動として実施した。</li> </ul> <p>「岩手県食品衛生協会として」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品による健康被害の発生防止と食品衛生への理解と関心を深めていただくために、8月の食品衛生月間に各支会が次の「食品衛生思想の普及向上事業」を保健所との共催により実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア)消費者等による一日食品衛生指導員、食品衛生講習会</li> <li>イ)テレビ・ラジオ等による食中毒予防キャンペーン、同スポットCM</li> <li>ウ)広報紙、ポスターの掲示による食中毒予防の注意喚起</li> <li>エ)手洗いチェッカーを用いた手洗い講習会</li> <li>オ)集客施設におけるリーフレット・エンボス手袋等の配布</li> </ul> </li> <li>・ノロウイルスによる健康被害の発生防止とノロウイルスに関する的確な情報を提供するために、11月～1月のノロウイルス食中毒予防強化月間に保育所、学童クラブ等において講習会を10回実施した。</li> </ul> <p>「岩手県学校栄養士協議会」として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育月間及び食育の日の取組について、給食試食会、給食だより等を通じて家庭へ情報提供を行った。</li> </ul>
--	--